

こくろう秋田

国鉄労働組合
秋田地方本部
(秋田市中通)
7-2-21
018-832-3775)

発行責任者 瀬下 一司
編集責任者 佐藤 浩一

地本チーム堂々五位!

第十二回国労東日本本部マラソン大会開催

十一月十日、小雨煙る皇居外周マラソンコースにおいて国労東日本本部主催「第十二回マラソン大会」が開催された。

駅伝にエントリーしたのは前年度優勝の長野地本チームを筆頭に十八チーム。例年は2チーム出場の秋田地本も今年は故障者多く1チームのみの出場。昨年同様雨天の中、予定



より十五分遅れて十一時四五分に開会式が行われ、主催者を代表して東日本本部伊藤委員長が挨拶を行った。前年度優勝の長野地本から優勝盃返還の後、「長野Aチーム」轟キャプテンが選手宣誓を行

順位、区間記

い、競技がスタートした。小雨の中ということでは選手とも調整に苦労しているようすだ。個人マラソンの部は十二時十分スタート。地本からは村越、佐賀の両選手が出場。十三時、駅伝がスタート。一区、六区は皇居を一周する5キロコース、その他は2.5キロの半周コース。この日明番で参加した一区小野(雅)から石川、高橋、佐々木、津田とタスキを繋ぎ、最後はアンカー小野(雄)が堂々5着でゴールとなった。

録などの詳細は後日に報告します

打ち上げ・反省会は地域間異動者激励を兼ねて

反省会は場所を神田に移し、地域間異動者の激励会を兼ねて行った。

地本の地域間異動者は広域出向者を合わせても全体で数名ということもあって、この日の参加者は金野認さん(中野駅)と駅伝参加者の小野雅人さん(上野駅)の二人だけ。二人とも乗客案内や異常時対応などの苦勞話を熱く語りつてくれました。

来年の春には復帰ということで見えてきただけに、気を引き締めて頑張ってください。

「ALL秋田」チームメンバー

- 一区 小野 雅人(秋総車支部)
 - 二区 石川 孝(横手運輸区分会)
 - 三区 高橋 敏(横・曲駅連合分会)
 - 四区 佐々木晴孝(横・曲駅連合分会)
 - 五区 津田 節雄(秋総車支部)
 - 六区 小野 雄志(秋総車支部)
- 個人マラソンの部参加者
佐賀 保男(秋総車支部)
村越 淳(秋総車支部)

冬期要求とテレフォンセンター関係の団交を開催

十一月九日、三六協定を巡る交渉によって引き伸ばしになっていた団交がようやく開催された。

冬期関係の主な要求については

駅・営業関係については 部外活用してのこまち駐車場除排雪 異常時のお客様への案内 冬期対応としての若手・女性社員の取扱い 駅構内融雪マットの増設 指令員の増員 支社間の指令員の連絡 テンポラリースタッフの増員及び冬期要員の教育 津軽地区の駅要員体制について協議した。

は駅長から地区への連絡での対応が可能。、 については連帯体制の迅速化で対応。、 については川部駅等を含め広域運用可との回答で概ね了解 整理した。 運輸・車両その他関係では 大久保駅踏切りザイ検知 船越駅ホーム延伸 秋田総合車両センター内の対応 冬期要員の住宅援助金などについて議論を行った。

テレフォンセンター関係 勤務終始業時刻の幅 制服等の取扱い 首都圏駅側への要請 勤務の休日明示の取扱いなどが議論となり、 については十分間のダ

プリー引継ぎ時間を半数に分け実施 については本社への要請を行うことと合意。 と については出向会社の規程であると回答があった。

細部にわたる要求については会社側の判断という姿勢を崩せない状況であることから、 今後は東日本本部とも連携しながら要求実現に向け対応を考えていきたい。

8日発令の事前通知に抗議 団交の冒頭、団交前日に国労組合員3名にテレフォンセンターへの事前通知を行ったことに対し抗議。 今後このようなことがないよう確認し団交に入った。

国労 事前発令は8日発令された。 本日、団交が事前に決定しているにもかかわらず、 労使協議の原則、信義の問題もあり、 重大な問題で強く抗議すると共に本件に対する支社の見解を求める。

支社 予定していたスケジュールに合わせた結果、 昨日となった。 配慮に欠け、ミスがありお詫びする。 これまでも協議後の人事異動を行い対処してきたが、 変わるものではない課間の連絡ミスである。

【今後の主な日程】

- 十一月
 - 十七日(土) 秋田・秋総車セ支部 交流会(金萬ボウル)
 - 二十日(火) 支社経営協議会
 - 三十日(金) 「JR不採用事件の早期全面解決を求める全国集会」 日比谷野音
- 十二月
 - 四日(火) 県交運労協第十五回定期総会 「六時フォーラムアキタ」
 - 七日(金) 12・8を考える県民集会 十八時 フォラムアキタ
 - 八日(土) 東日本本部主催「主任者交流会(東北ブロック)」 盛岡市